



総務省 1

全国知事会オリパラ連絡調整会議資料

グローバルコミュニケーション計画の推進
— 多言語音声翻訳技術の研究開発及び社会実証 —

平成29年2月16日
情報通信国際戦略局 技術政策課

内閣府「2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向けた 科学技術イノベーションの取組に関するタスクフォース」と連携した総務省の研究開発

内閣府 2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向けた科学技術イノベーションの取組に関するタスクフォース(2014.8～)

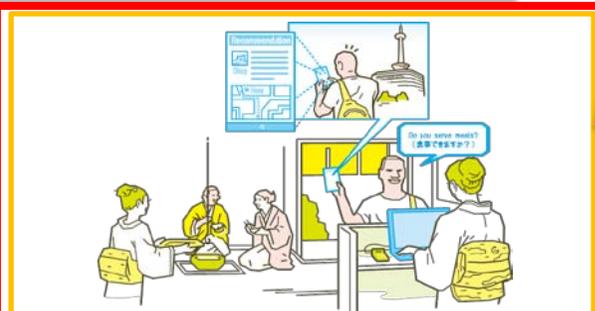
1 検討事項

- 大会に活用又は大会に合わせて実用化すべき科学技術イノベーションの取組に関するプロジェクトの設定・推進
- プロジェクトの付加価値を高めるための方策
- プロジェクトを通じて日本発の科学技術イノベーションを広く世界に発信するための方策

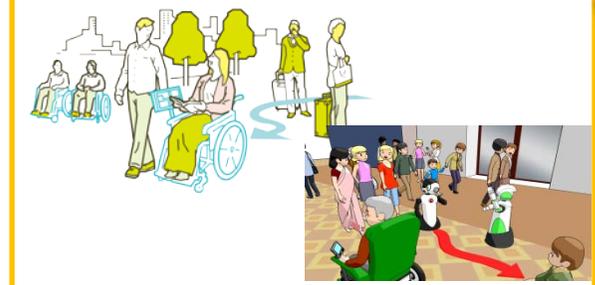
2 メンバー

- 伊藤 智也 元パラリンピック(陸上)代表選手
- 齋藤 ウィリアム 浩幸 内閣府参与/株式会社インテカー 代表
- 竹内 薫 サイエンス作家
- 為末 大 元オリンピック(陸上)代表選手
- 野口 雄史 株式会社テレビ東京 報道局 チーフ・プロデューサー
- パトリック ハーラン タレント

総務省研究開発プロジェクト



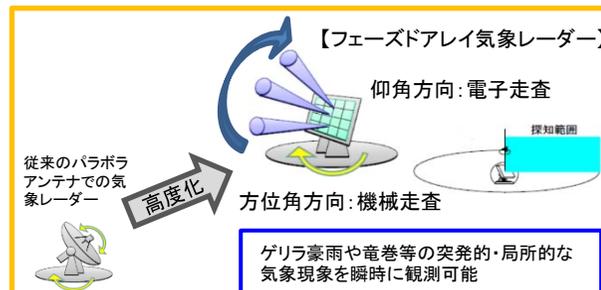
グローバルコミュニケーション計画の推進
-多言語音声翻訳技術の研究開発及び社会実証-



自律型モビリティシステム
(自動走行技術、自動制御技術等)の開発実証

オリンピック・パラリンピック東京大会タスク フォースが検討する「9つのプロジェクト」

- 海外からの来訪者等に多様なサービスを提供するための意思・情報伝達サポートの実現
- 感染症サーベイランスの強化
- 多様な人が参加する活気あふれる社会の発信に向けた高齢者、障害者やパラリンピック競技サポートの実現
- 東京の成長と高齢化社会を見据えた次世代都市交通システム(ART:Advanced Rapid Transit)の実用化
- 水素社会実現への貢献を目指したエネルギーキャリア技術の開発
- ゲリラ豪雨・竜巻等予測の高度化と気象情報の提供
- 「サイバーフィジカルシステム」による安全・安心の実現及び快適な「おもてなし」の実現
- 超臨場感技術の研究開発による新たな映像体験の実現
- 夏でも負けない花作りプロジェクト



フェーズドアレイ気象レーダの研究開発等



超臨場感技術の研究開発

スマートフォンで利用できる多言語音声翻訳技術の研究開発について

- 総務省所管の国立研究開発法人 情報通信研究機構(NICT)を中心に、「言葉の壁」を越えたコミュニケーションの実現を目指した「多言語音声翻訳システム」を開発。現在は無料のスマートフォンアプリVoiceTraとして試験利用が拡大、民間企業の製品・サービス化が進行中。

現在

スマートフォンアプリ VoiceTra

- ✓ 一部テキスト入出力のみを含めて31言語に対応
- ✓ 日英中韓を含め10言語の旅行会話で実用レベル(英語はTOEIC600点レベル)の翻訳が可能
(音声認識、翻訳に人工知能を活用)



性能向上に向けた取組

- ✓ 医療など、旅行会話以外の翻訳を可能にする
- ✓ 実用レベルで翻訳可能な言語数を拡大する
- ✓ 多様な言い回しへの対応や、雑音除去、自動学習等の研究開発

ダウンロード用 QRコード
VoiceTraサポートページ:
<http://voicetra.nict.go.jp/>

空港

鉄道

警察

スポーツイベント



MARITA AIRPORT Translator
成田空港専用翻訳アプリ「NariTra」
(NICTが技術移転)

(写真: 成田空港(株)より提供)



京急電鉄は乗換や遺失物等の案内に試験活用

(写真: 京浜急行電鉄(株)より提供)

東京メトロは同社管理の全170駅に導入

(写真: 東京地下鉄(株)より提供)



岡山県警が、地理案内、遺失物申請等に活用

(写真: 岡山県警察本部より提供)



東京マラソン2015、2016で救護所やボランティアが活用

©一般財団法人 東京マラソン財団

2020年

研究開発と大規模実証を経て、東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催される2020年までに社会実装
→ 全国展開

ショッピング

ハンズフリーでの対応



鉄道



案内業務

医療



病院での診療

観光



タクシー



多言語コールセンター

街中での案内(ボランティアなど)のサポート

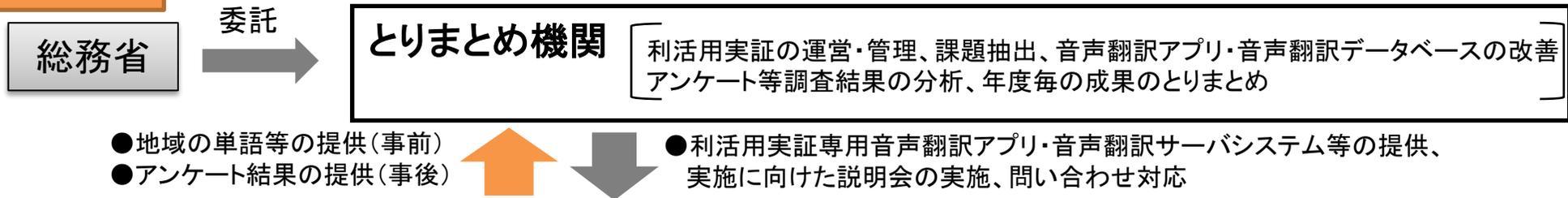
車載ディスプレイで会話サポート

平成29年度「多言語音声翻訳システムの利活用実証」の概要

目的

あらゆる人にとって使いやすい多言語音声翻訳システムを実現するための技術や機能に関し、利活用実証の実施地域とともに研究開発と実証を行うもの。国内複数箇所で実施し、様々な利用者に十分に使用頂いた上で評価をもらい、システムの向上を図ることで、誰もが使いやすいサービス、アプリケーション、機器を実現する。

実施体制



実施団体

※平成29年度は 1/5 ~ 3/3 に総務省の公募を実施。全国5団体程度を外部有識者の評価を経て選定。

- 対象地域(案)：外国人訪日客が多く増加傾向にある中、多言語音声翻訳システムも活用し、自ら積極的に外国人を受入れ、地域の活力としたい地域。
- 対象主体(案)：地方公共団体等(特別区、広域連合、一部事務組合を含む)又は地方公共団体等と法人で構成されるグループ(※複数の地方公共団体等の区域にまたがる関係者においてグループを構成しても良い。)

※ 研究開発予算であり地域への補助金ではないことから、具体的には以下のような内容への支援は対象外となる。
端末機器、無線LAN、自治体施設等のネットワーク構築、移動通信用設備、テレビ・ラジオ放送設備、テレワークセンター、地元ベンチャー企業支援 等

●実施団体にお願ひすること (平成29年度利活用実証 実施期間:平成29年7月頃~平成29年2月頃)

- ① 利活用実証の実施前
 - ✓ 実施計画の整備(実施場所、翻訳アプリ等の利活用方法等の実施体制の整備)
 - ✓ 地域固有の地名、特産品(一般名詞)、観光に係る単語等の多言語での提供(無ければ日本語のみで可。所定の様式(Excelファイル)に記入)
 - ✓ 実施主体(又は協力いただける方)による端末機器(スマートフォン、タブレット等)の準備
- ② 実施中 → 翻訳アプリ等を利活用した外国人対応、アンケート等の実施(人件費等は総務省事業からの負担無)
- ③ 実施後 → アンケート結果の提供、その後の自主的な利用の継続

(参考) 平成28年度 利活用実証 エリアマップ

日本文化の発信 寺社とその周辺での活用

曹洞宗大本山永平寺のミシュラングリーンガイド二つ星獲得に伴うインバウンド対策における外国人参拝客訪問時のおもてなし力の向上

- ・ 永平寺町
- ・ 永平寺観光物産協会
- ・ えちぜん鉄道株式会社
- ・ 大本山永平寺
- ・ 永平寺門前観光協会
- ・ 京福バス株式会社



スキー場を中心とした広域リゾートでの活用

山岳高原を活かした世界水準の滞在型観光地を目指して
～北アルプスエリアにおける言葉の壁のない周遊・滞在環境を実現～

- ・ 北アルプス三市村観光連絡会(大町市、白馬村、小谷村)
- ・ 立山黒部貫光株式会社
- ・ 大町温泉郷観光協会
- ・ マックスバリュ長野株式会社(ザ・ビッグ白馬店)
- ・ 長野県白馬高等学校
- ・ 有限会社 白馬交通
- ・ 奥白馬高原開発株式会社



クルーズ客船の受入体制強化に活用

外航クルーズの寄港による外国人旅行者に向けて、言語による壁を取り除き、会話を介する双方向のコミュニケーションを実現

- ・ 舞鶴市
- ・ クルーズ客船おもてなし関係者連絡会議
- ・ 舞鶴観光協会(まいづる観光ステーション)
- ・ 道の駅「舞鶴港とれとれセンター」



嵯峨嵐山地域での消費意欲喚起に向けた活用

京都・嵯峨嵐山地域におけるグローバルコミュニケーションの実現に向けて
～おもてなし力の向上と消費意欲を商店街へ～

- ・ 京都市
- ・ 嵯峨嵐山おもてなしビジョン推進協議会
- ・ 嵐山保勝会
- ・ 京福電気鉄道株式会社
- ・ 京都銀行



温泉地や招へい事業における活用

ふくしまの魅力発信
～ふくしまの温泉地への外国人観光客誘致～

- ・ 福島県
- ・ 福島市
- ・ 福島県旅館ホテル生活衛生同業組合
- ・ 一般財団法人会津若松観光ビューロー



阿波おどり会館を核に中心市街で活用

あったかい徳島のおもてなしで、徳島市中心市街地における外国人観光客の利便性・満足度の向上を図る。

- ・ 徳島市
- ・ 公益社団法人徳島市観光協会
- ・ 徳島東部地域体験観光市町村連絡協議会
- ・ 徳島市東新町1丁目商店街振興組合※調整中

